



公式ポッドキャスト 『トイレ情報Deeper!』開始

この度、アメニティ本部では、ポッドキャスト番組『トイレ情報Deeper!』を開始いたしました。ポッドキャストとは、インターネットを通じて音声データを配信するサービスです。好きな時に好きな場所で音声配信をお楽しみいただくことができます。

この番組は、名誉トイレ診断士の佐藤満春さんがパーソナリティを務めるラジオ



番組プロデューサー・パーソナリティ 宮川 賢さん

ラジオではトイレ博士である佐藤満春さんがトイレにまつわるニュースをかみ砕いて解説していますが、それ以外のトイレの専門家はこの情報をどう受け取って、どう解説するんだろう?という疑問から始まった番組です。トイレ診断士の方々は佐藤さんとはまた違った個性やおもしろさがあります。今現在もどんどん収録を進めていますので配信をぜひお楽しみに!



Spotify
apple
podcast



トイレ診断士
芸人

第
23
回

佐藤満春のトイレな話 シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

ジェンダーレストトイレ

トイレ名誉診断士の佐藤満春です。新宿歌舞伎町タワーのトイレが悪い意味で話題になりました。新宿歌舞伎町タワーは2023年5月オープン、地上48階、地下5階建ての超高層複合施設です。こちらの2階に、性別に関係なく利用できる「ジェンダーレストトイレ」とはいったいなんでしょうか?

このトイレの構造は、入り口が左右に分かれています。共通の入り口から左方向へ進むと男性が小用を足すときの小便器が設置されたトイレがあります。反対の右方向へ進むと個室トイレブースが13室。ここは同じエリアに女性用トイレ、男性用トイレ、多目的トイレなどがあり、洗面台がそれぞれの種類ごとに共用されて

います。つまり、男性が小便に行く時は左のエリアへ、大便器を使いたい人は性別にかかわらず右のエリアに行くことになり、女性が化粧直しをする空間に男性もいることになります。

タワー側としては「ジェンダーレストトイレは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の理念でもある「誰一人取り残さない」ことに配慮し、新宿歌舞伎町の多様性を認容する街づくりから、設置導入いたしました」とのことですが、これはいったい誰のための理念・目標だったのでしょうか?ジェンダーレスという着地点にこだわりすぎた結果、同じ空間にさまざまなトイレを混在させたことで全く逆の要素を盛り込むことになってしまいました。我々がすべきは「理念」や「目標」からの逆算ではなくあく



までも「利用者目線」であるべき。しかし、これはトライ&エラーで色々なことを試しながら、時代の空気を読みながらいいトイレ環境を見つけていく、そして創っていくしかないのだとも思います。日本にはたくさんのいいトイレのお手本があります。「利用者」が軸になるトイレが増えてトイレ困る人が1人でも減るよう、私も意識していきたいと思います。

トイレ
歳時記
7月

今年の夏も猛暑が予想され、それにともない電力不足も起こりそうです。温水洗浄便座の温度設定を「低温」または「切」に設定したり、トイレを使用していない時は電気を切ったり、トイレの中でできる節電もありますね。

編集
後記

アメニティ本部環境館(研修センター)で行われた公式ポッドキャスト『トイレ情報Deeper!!』の収録に初めて参加しました。「自分の声が全世界に向けて発信されてしまうのか」と思い始まる前は緊張していました。実際にラジオのパーソナリティとして活躍している宮川賢さんはさすが本職の方といった感じで、こちらのどんな話も受け止めてくれて話しゃべく、楽しい収録になりました。みなさんもぜひ聞いてみてください!(セルベッヂ中嶋)

あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル ☎0120-57-1110

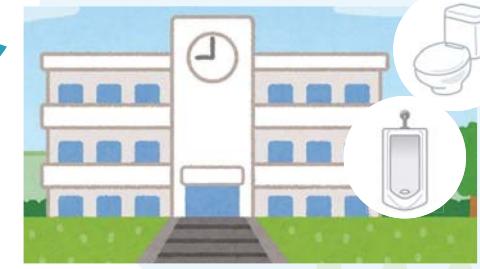


トイレを楽しくする新聞 かわや版 KAWAYABAN

2023 夏号
Vol. 103

特集 学校トイレの今

前号のかわや版、佐藤満春さん特集でも話題に上がった「子供が学校で排便ができない問題」。今回はその学校トイレについて、老朽化対応と排便できない問題に焦点を当ててみたいと思います。



じ調査でも、「耐震化」や「パソコン・電子黒板の整備」などを抑えて不動の一位となっています。現場からはトイレ改善の要望はあるものの、あまり改善されていないことがわかります。

学校の洋式化率

2020年に文部科学省の調査によると、全国の公立小中学校には約136万個の大便器があり、そのうち洋式便器は77万個(57%)、和式便器は58万個(43%)となっています。しかし詳細を見てみると、洋式化率100%を達成している自治体がある一方、洋式化率が20%に満たない自治体も見受けられたり、東日本に比べ西日本での洋式化率が低い傾向があったりと、自治体や地域での格差が見られました。全体としては4年前の2016年の調査時には洋式化率43.3%だったものが13.7ポイント増えている、やっと洋式便器が過半数を超えてきたというのが学校の現状です。国で

は2025年までに「95%洋式化」の目標を掲げていて、洋式化に補助金を出すなどの政策も打ち出していますので、洋式化が加速していくことに期待したいです。

和式もあった方がいい?

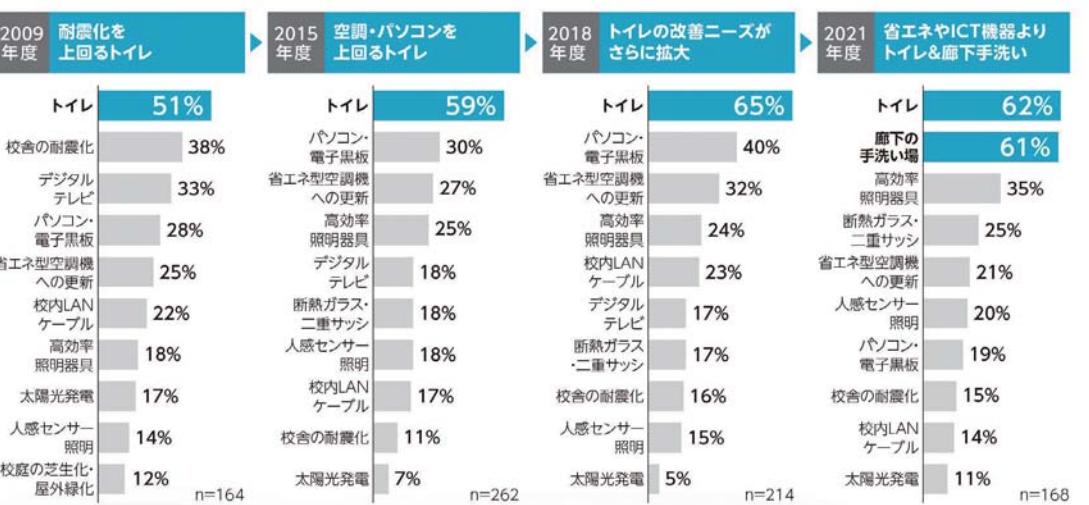
それでも「肌が便座に触れるから汚い」「和式もあった方が良い」という声も根強くあります。しかし、「感覚的清潔」と「実際の衛生性」は異なると学校のトイレ研究会は訴えています。洋式の便座よりも、手洗いの水栓ハンドルや水を流して清掃した床の方がはるかに多くの菌を検出しました。また、和式便器の周りからは大腸菌も検出され、それを靴で運んでいるという形跡も確認されました。また、学校の多くは災害時に地域の避難所となります。「避難所の仮設トイレが和式で困った」というのは過去の災害でも経験済みですので、バリアフリーの面からも洋式化が望まれています。

学校トイレ研究会の調査

では、現場ではどのような要望があり、その要望に応えることはできているのでしょうか?学校のトイレについて研究、情報発信をしている「学校のトイレ研究会」が2021年に自治体や公立小中学校で実施したアンケート調査では、「学校で児童・生徒のために改善が必要と思われる場所」の第一位は「トイレ(62%)」となっています。これは例年実施している同

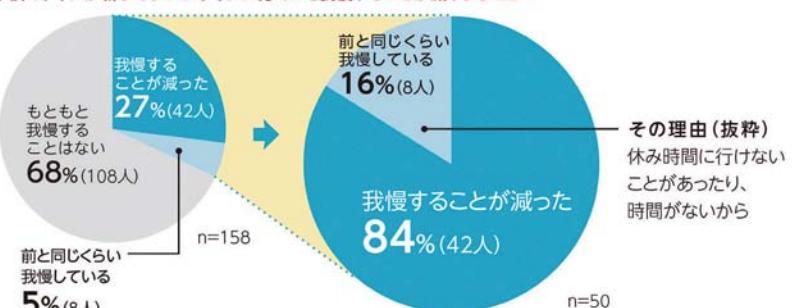
全国の公立小中学校教職員に聞きました!

Q 学校で児童・生徒のために改善が必要と思うもの



改修後の子どもたちの声 トイレ改修を実施した学校の児童に聞きました!

Q.学校のトイレが新しくなって、トイレに行くのを我慢することが減りましたか?



3割以上の子どもたちがトイレを我慢していた中、8割以上が「我慢することが減った」と回答

学校でトイレを我慢する理由

同研究会がある小学校で行った調査によると、「学校でトイレを我慢する理由」として最も多いのが「トイレが汚くておうから」「和式便器がいやだから」となっています。和式便器は洋式便器に比べて排便時や床からもおいがちです。また、学校以外の多くの場所が洋式便器という中、学校で初めて和式便器に出会うという生徒も少なくありません。慣れない和式便器に抵抗感を持つのは大人も同じですよね。

トイレの改修でからかいは減るのか?

では、トイレがきれいになったからと言って「学校で排便するとかかわられる」という問題は解決するのでしょうか?これも学校トイレ研究会が調査しています。「トイレを我慢する理由」として「大便をするからかかわられるから」と回答した生徒が、トイレ改修前には7人だったものが改修後には0人になりました。トイレがきれいか汚いかということが、子どもたちの心や友達とのかかわり方にも大きな影響を及ぼしていることがわかります。

もちろん、トイレが古い新しい、汚いきれいにからわらず、「排泄はとても大切なこと」「恥ずかしいことではない」という雰囲気を作っていくことも同時に重要なことでしょう。

改修前後の子どもたちの声 「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」と答えた児童に聞きました!

Q.トイレを我慢する理由



「東京市の小学校トイレ改修前後調査」(協力:学校トイレ研究会)対象:5~6年生 n=166 (男子n=82, 女子n=84) (改修前:2010年7月, 改修後:2010年11月)

三条市の取り組み

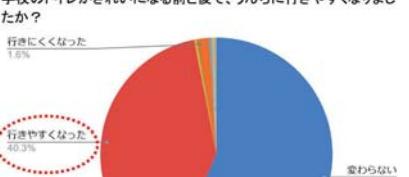
新潟県の三条市では、2022年度に市内の小中学校でトイレの大規模改修が行われました。この改修は市内の女子中学生のご家族が市長へ宛てた1通の手紙から始まりました。そこには「1つの女子トイレに洋式トイレが1つしかないため、洋式トイレに列ができる、次の授業に遅れてしまう」と書かれていました。そこで初めて教育現場の現状に思い至った市長は「学びの前提となる基本的な環境の整備が必要」と大決断。すでにトイレが洋式化



れている4校を除いた市内の小中学校24校で、総工費12.6億円、市の年間予算の2.5%をもかけた大規模改修に乗り出しました。また、改修だけにとどまらず、「学校のトイレでもうんちしゃすくなっちゃう!」ポスターの募集など、学校で排泄することに対して子どもたちの気持ちを前向きにする取り組みも同時に実行されました。ポスター募集には251作品もの応募があり、受賞したポスターは市内の小中学校に配布され、排泄の重要性の啓発に活用されています。



学校のトイレがきれいになる前と後で、うんちに行きやすくなりましたが?



改修後に実施されたアンケート。40%の児童生徒が「学校でうんちにいきやすくなった」と回答しています。

まとめ

子どもたちにとって、排泄はセンシティブ、かつ重要な問題です。学校という小さな社会の中で子どもたちが心も体も健やかに成長できるように、国や自治体、教育委員会でも学校トイレの改善を後押ししてもらいたいと思いました。加えて、洋式化等の改修を終えたトイレも人が利用する限り、適切なメンテナンス(維持管理)を継続して実施していかなければ、元の汚いトイレに戻ってしまいます。改修=完成とは思わず、子供たちや環境のためにも、そのトイレが長く快適に利用できるように、改修だけではなく、その後の維持管理の予算もセットとして確保しておくことが望ましいでしょう。

大事な「眼」のことを親身に対応
あきやま眼科様

- 設立:1999年7月
- 住所:静岡県島田市阪本1601-11
- URL:<https://www.akiyama-ganka.net/>

お客様訪問

No.51

今回ご登場いただくお客様は静岡県島田市で眼科医院をされているあきやま眼科様です。あきやま眼科様はなんと開業されてから25年間、欠かさずアメニティネットワークのサービスをご利用いただいている。アメニティの大ファンでいらっしゃるという、院長先生の奥様の秋山未雪様にお話を伺いました。



▲秋山未雪様

どにも積極的に取り組んでいます。最近では遠近両用のコンタクトレンズにも力を入れていて、ミドル世代の患者様からは「老眼鏡から解放されて若々しくなる」とご好評をいただいている。

■患者様に対してどのようにことに気を付けていらっしゃるのでしょうか?

眼科医院という特性上、目の見えない患者様、また年齢の患者様が多くいらっしゃいますのでバリアフリーは必須です。安心して治療を受けていただけるよう、院内の清潔やスタッフの言葉遣いにも気を付けています。また、これはアメニティを導入したきっかけにもつながりますが、自分が若い頃に病院を受診した時に、子供を抱えながら下駄を履いて和式トイレを利用しなければならなかったのが本当に大変で、開業した時から「トイレは快適にしていかなければ!」と思っていた。

■アメニティとの出会いを教えてください。

開業前にさかのぼりますが、高速道路のサービスエリアを利用した時にトイレがとても清潔で気持ちがよかったです。「な

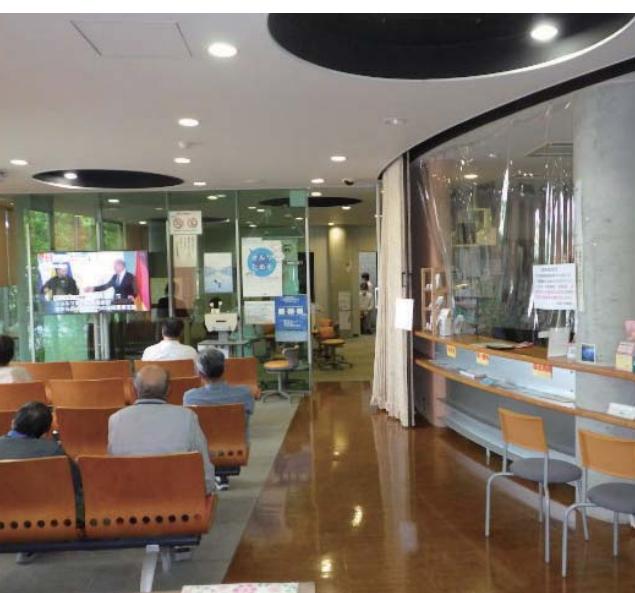
んでだろう?」と思っていたら壁にアメニティさんの消臭剤があるのを見つけて、あわてて連絡先を控えて帰りました。その後、開業の際には真っ先に連絡をして、横浜から静岡までわざわざ来ていただきました。

■アメニティの担当者にひとことお願いします。

いつも明るく、丁寧にメンテナンスしていただきありがとうございます。長年きれいに維持できているといつもほめています。節水型の自動の手洗いや小便器の垂れを防止するマット、エレベーターの消臭なども提案して導入しました。自分たちの掃除では落としきれないところを見てくれたり、正しい掃除の仕方も教えてくれたりと、トイレ専門ということで他社さんで



▲トイレには森林浴消臭剤やシートクリーナー、尿石防止剤や垂れこぼ防止マットも設置されています。



☆ 私が担当しています! ☆

SHOP
アメニティースペース 神奈川県横浜市
設備プロ.com <https://setsubi-pro.com>

安永 裕志 (やすなが ひろし) さん トイレ診断士1級 ID:10-0110-0260

平素はアメニティネットワークのサービスをご愛顧賜り誠にありがとうございます。あきやま眼科様では毎月お客様用のトイレとスタッフ様用のトイレの小便器リピートメンテナンス、大便器サニタリーメンテナンス、消臭リピートメンテナンスをご利用頂いております。また、ナチュラルウォッシュα(撥水性洗剤)をいつもご購入頂き、日常清掃でご使用頂いております。点検時に発見した汚れはフォローアップを実施し、設備の機能確認もしてトイレをご利用される方々が不便なく快適に使って頂けるよう毎月作業をさせて頂いております。リピートメンテナンス作業報告時にはいつも秋山様に仕事上の色々なアドバイスなど、お忙しいなか貴重なお時間を頂いております。また、他のお客様もご紹介して頂いたりもして、いつもありがとうございます。引き続き快適なトイレ空間を維持して参りますので宜しくお願い致します。